

精神科医師による こころの健康相談



健康づくり課

☎229-3164 ☎229-3346

悩みや不安を抱えて困っているときは、一人で抱え込まずに、精神科医師に相談してみませんか。家族からの相談も受け付けています。

時 8月17日(月)14時～16時

所 中央保健センター

対 市内に在住の人

定 先着3人

申 8月10日(月)より二次元コードから

第2回認知症 サポーター養成講座



地域包括ケア推進室

☎229-3294 ☎229-3334

認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り、手助けするサポーターを養成します。認知症になっても安心して暮らせるまちを一緒に作りましょう。

時 9月2日(水)13時30分～15時

所 津リージョンプラザ3階第7会議室

定 先着30人

申 8月3日(月)より二次元コードから、または電話で地域包括ケア推進室へ

地域密着型サービス 事業者の公募



介護保険課

☎229-3149 ☎229-3334

地域密着型サービス施設の整備を進めるため、サービス事業者を公募します。応募方法など、詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。

公募対象サービス

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 認知症対応型通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護

歴史散歩

235

津の戦災を語り継ぐ

太平洋戦争末期の昭和20(1945)年3月以降、津市は米軍による空襲を受けるようになります。

6月26日には、市内にあった軍需工場を目標としたB29による爆撃が行われ、数百名の犠牲者を出しました。さらに7月24日の橋内地区への爆撃では、当時の師範学校の校地内(現在の市役所一帯)だけでも48発の爆弾が投下されたと『津市史第4巻』に記されています、その激しさがうかがえます。そして、7月28日深夜には、大規模な焼夷弾投下による空襲で発生した火災により、中心市街地の大部分が炎に包まれ焼け野原となりました。度重なる空襲により、市街地面積の7割以上が被害を受け、当時

の市街地人口の半数を超える4万人余りが被災するなど、甚大な被害に見舞われました。

津市では、空襲の記録や記憶を後世へ伝えるため、毎年展示を行っています。

8月16日(日)まで中央公民館ギャラリーで開催中の企画展『戦争と津』では、焼け野原となった市街地の写真パネルや空襲被害の記録のほか、戦時下の市民生活の様子を伝える資料を展示します。

戦争がもたらす悲劇を教訓とし、二度と惨禍を繰り返すことがないよう、平和の大切さを改めて見つめ直す機会となるものです。戦後81年を迎えるこの夏、戦争と平和について考えてみませんか。

生涯学習課

☎229-13251

☎229-13257

<広告>

個別就職相談会 開催します!



事前予約不要! 就職相談会!!
「こんな働き方は?」「お給料は?」

令和8年8月29日(土)
13:00～17:00 時間内いつでもOK!
津リージョンプラザ2階 第4会議室
★ 津市役所隣 駐車場代無料 ★

電話: 059-252-2309 メール: somu@ohrin-mc.jp
採用担当: 長谷川・杉山

365日 24時間利用料0円
託児所完備! 私生活との両立を図れます。

正・准看護師 介護福祉士
薬剤師 PT・OT・ST 事務員など



20代～70代いろいろな
世代の方が活躍しています

市税収入の一部に寄与することを目的に、広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。